

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 ダイナミック造影 MRI を用いた筋層非浸潤性膀胱癌の BCG 膀胱内注入療法効果判定についての検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 放射線科 職位・氏名 院内助教 川田礼

### 【情報の利用目的】

筋層非浸潤性膀胱癌は高頻度に再発を繰り返すことや筋層浸潤性膀胱癌へ進行することが知られています。これに対し Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guerin (BCG) を膀胱内に注入すると炎症反応が起こり、免疫反応が活性化され抗腫瘍効果を発揮することが知られています。BCG の膀胱内注入療法は現在では標準的治療として実施されている治療ですが、治療効果判定を行う際に毎回膀胱壁の生検を行うことは身体に対する負担が大きいと考えられます。

このため今回我々はダイナミック造影 MRI 検査画像を用いて膀胱壁の血管透過性という値を測定することでより負担の少ない治療効果の判定を行うことができるか調べることを目的とした研究を行います。

この研究で得られる成果は、筋層非浸潤膀胱癌を有する方が BCG 膀胱内注入療法を行った際に身体への負担が少ない効果判定ができるようになることにつながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、再発の有無、ダイナミック造影 MRI 検査データ

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【情報の利用を開始する予定日】

2025 年 12 月より利用を開始します。

### 【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

### 【情報の取得方法】

対象者: 筋層非浸潤性膀胱癌と診断され BCG 膀胱内注入療法を施行し、3T MRI 装置が当院に導入された 2018 年 6 月以降で BCG 膀胱内注入療法前後に 3T MRI 装置を用いてダイナミック造影 MRI 検査を施行された方

方法: ダイナミック造影 MRI 検査画像と診療録から抽出したデータを使用します。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 川田礼 役職: 院内助教

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大橋病院 放射線科

**【情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 放射線科 川田礼

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2028 年 8 月 12 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 放射線科

職位・氏名 院内助教 川田礼

電話 03-3468-1251 内線 3212